

色麻町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 A	実収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
22年度	人 7,497	千円 3,860,224	千円 165,491	千円 813,174	% 21.07	% 20.13

(2) 職員給与費の状況 (普通会計決算)

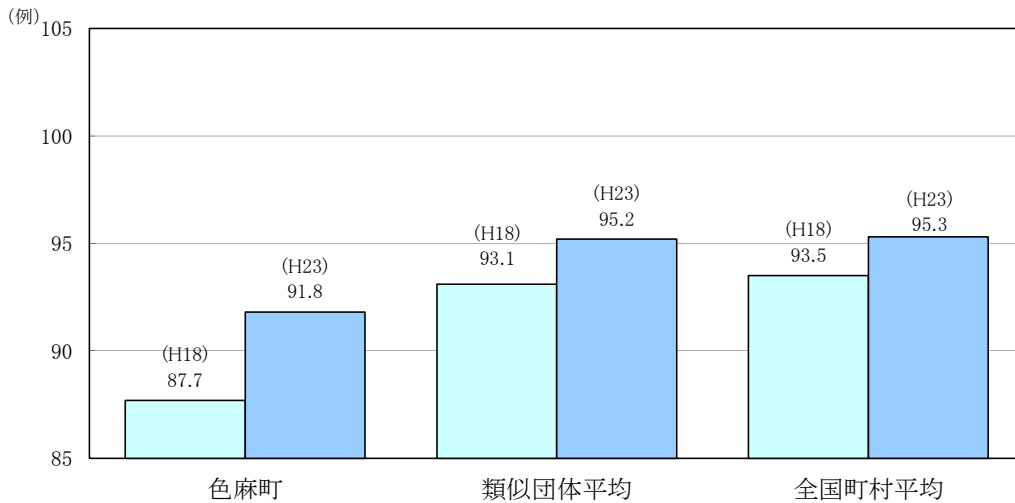
区分	職員数 A	給与				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
22年度	人 85	千円 328,016	千円 44,505	千円 120,986	千円 493,507	千円 5,806	千円 5,717

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成23年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項

なし

(4) ラスパイレス指数の状況 (各年4月1日現在)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

2 一般行政職給料表の状況 (平成23年4月1日現在)

(単位：円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の 給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600
最高号給の 給料月額	243,700	309,400	356,400	390,100	402,500	424,600

(注) 給料月額は、給与抑制措置を行う前のものである。

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成23年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
色麻町	45.5 0	321,600 円	373,443 円	349,294 円
宮城県	42.8 歳	343,936 円	440,213 円	379,909 円
国	42.3 歳	327,205 円	---	397,723 円
類似団体	43.4 歳	322,165 円	375,584 円	352,415 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
色麻町	48.3 歳	9 人	252,800 円	271,089 円	262,150 円	---	---	---	---
うち調理員	※ 歳	※ 人	※ 円	※ 円	---	調理員	39.9 歳	238,500 円	※
うち用務員	46.3 歳	4 人	235,100 円	244,600 円	238,163 円	用務員	53.8 歳	209,700 円	1.28
うち給食調理員	51.8 歳	3 人	257,100 円	269,133 円	260,167 円	給食調理員	39.9 歳	238,500 円	1.13
宮城県	49.5 歳	257 人	332,110 円	383,254 円	358,903 円	---	---	---	---
国	49.5 歳	3,689 人	283,862 円	---	321,662 円	---	---	---	---
類似団体	50.1 歳	5 人	302,584 円	328,341 円	319,177 円	---	---	---	---

区分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
色麻町	---	---	---
うち調理員	※ 円	2,943,200 円	---
うち用務員	3,880,500 円	3,127,700 円	1.24
うち給食調理員	4,248,496 円	2,943,200 円	1.44

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成19～平成21年の3ヶ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 職員の初任給の状況（平成23年4月1日現在）

区 分	色 麻 町	宮 城 県	国	
一般行政職	大 学 卒	172,200 円	178,800 円	172,200 円
	高 校 卒	140,100 円	144,500 円	140,100 円
技能労務職	高 校 卒	137,200 円	141,900 円	---
	中 学 卒	121,600 円	125,400 円	---

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成23年4月1日現在）

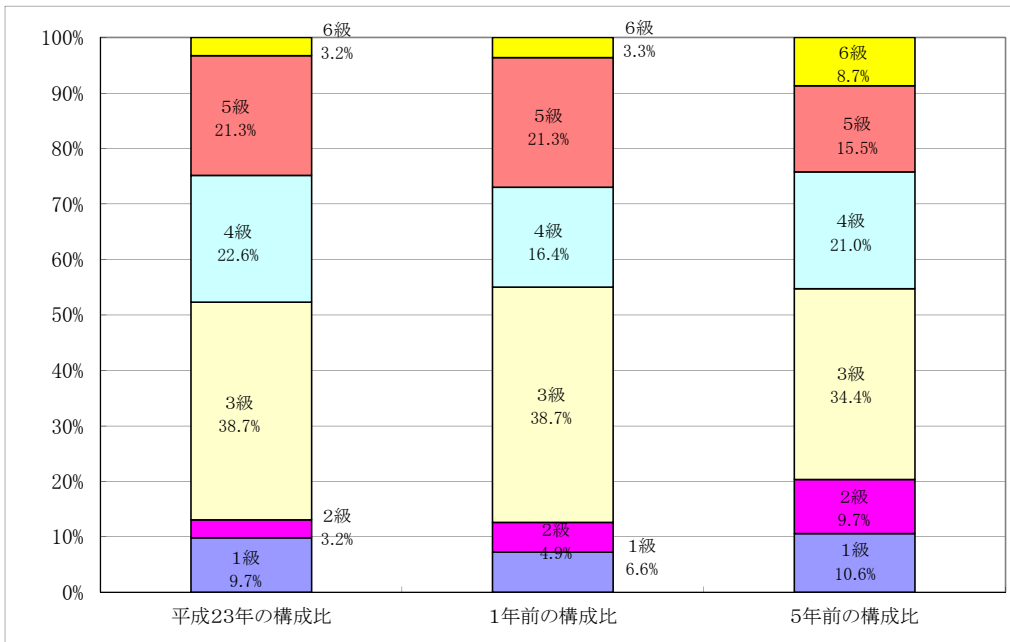
区分		経験年数1 0年	経験年数1 5年	経験年数2 0年
一般行政職	大学卒	— 円	292,000 円	— 円
	高校卒	— 円	247,300 円	278,400 円
技能労務職	高校卒	— 円	— 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	213,600 円

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成23年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事、技師、栄養士、保育士、保健師及び教諭の職務	6人	9.7%
2級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務 (主事、技師等)	2人	3.2%
3級	係長の職務又は職務の複雑、困難及び責任の度がこれと同程度の職務 (主幹、係長、主査)	24人	38.7%
4級	困難な業務を処理する課の課長補佐の職務又は職務の複雑、困難 及び責任の度がこれと同程度の職務 (課長補佐、次長)	14人	22.6%
5級	課長の職務又は職務の複雑、困難及び責任の度がこれと同程度の職務 (課長、局長、所長)	14人	22.6%
6級	特に重要な業務を所掌する課の長の職務又は職務の複雑、困難及び 責任の度がこれと同程度の職務 (課長、局長、所長)	2人	3.2%

(注) 1 色麻町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

昇給については、給与構造改革の導入により、勤務成績の反映を一層細かく行う目的で、従来の昇給幅を4分割にされたところです。この目的を達成するため、現在1月1日から12月31日までの1年間における業績、勤務態度や能力などを評価し、その評価結果に基づき、1月1日に実施する昇給の区分を決定することとしております。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

色 麻 町	宮 城 県	国
1人当たり平均支給額(平成22年度) 1,472 千円	1人当たり平均支給額(平成22年度) 1,691 千円	---
(平成22年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.50) 月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70) 月分	(平成22年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.50) 月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70) 月分	(平成21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.50) 月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置【有】 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 15%~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】 勤勉手当への勤務実績の反映状況 (一般行政職)

基準日(12月1日)以前、1か年以内の期間における勤務成績(業績、勤務態度や能力)により評価を行い、評価を行い、結果区分に応じ成績率を決定する。

(2) 退職手当 (平成22年4月1日現在)

色 麻 町	国
(支給率) 自己都合 勤続20年 23.50 月分 勤続25年 33.50 月分 勤続35年 47.50 月分 最高限度額 59.28 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算) 1人当たり平均支給額 23,001 千円	(支給率) 自己都合 勤続20年 23.50 月分 勤続25年 33.50 月分 勤続35年 47.50 月分 最高限度額 59.28 月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算) 25,152 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成21年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(平成23年4月1日現在)

支給実績(平成22年度決算)		-		千円
支給職員1人当たりの平均支給年額(平成22年度決算)		-		円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)	
東京都	18 %	1 人	18 %	
仙台市	6 %	1 人	6 %	
名取市、多賀城市、 利府町、富谷町	3 %	1 人	3 %	

(5) 時間外勤務手当

支給実績（平成22年度決算）	21,199 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成22年度決算）	558 千円
支給実績（平成21年度決算）	13,399 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成21年度決算）	152 千円

(6) その他の手当（平成23年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	1. 配偶者 13,000円 2. 配偶者以外の扶養親族 それぞれ6,500円(職員に配偶者がない場合はそのうち1人について11,000円) 3. 扶養親族である子のうち満15歳に達する日後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子1人につき5,000円	同じ	—	11,471 千円	224,926 円
住居手当	1. 借家・借間に居住している職員 ア月額23,000円以下の家賃を支払っている職員 イ月額23,000円を超える家賃を支払っている職員 11,000円+〔家賃〕-23,000円)÷	同じ	—	1,431 千円	204,386 円
通勤手当	1. 交通機関の利用者 月額55,000円を限度に支給 2. 自家用車等の使用者 使用距離(片道)に応じ2,000円～24,500円を支給	同じ	—	2,995 千円	38,899 円
管理職手当	課長等の職にある者に支給 5級の職にある者 49,600円 6級の職にある者 51,900円 (現在は1/2の額を支給)	同じ	—	4,293 千円	286,213 円
単身赴任手当	転勤により住居を移転し、配偶者と別居して単身で生活する職員 月額23,000円+加算額	同じ	—	— 千円	— 円
寒冷地手当	基準日(毎年11月から翌年3月までの各月の初日)に支給地に在勤する職員に対して支給 地域の区分:4級地 世帯主である職員 ・扶養親族のある職員 17,800円 ・その他の世帯主である職員10,200円 ・その他の職員 7,360円	同じ	—	6,404 千円	64,036 円
休日勤務手当	休日(祝日・年末年始)において正規の勤務時間に勤務することを命ぜられ勤務した職員に支給 支給額=1時間あたりの給与額×(135/1000)×勤務時間数	同じ	—	— 千円	— 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として、深夜(午後10時から翌日の午前5時まで)に勤務することを命ぜられ勤務した職員に支給 支給額=1時間あたりの給与額×	同じ	—	— 千円	— 円
宿日直手当	宿日直勤務を命ぜられ勤務した職員に支給 宿日直手当 4,200円 半日直手当 2,100円 (5時間未満の場合)	同じ	—	— 千円	— 円
管理職員特別手当	管理職手当での支給を受ける職員が、臨時又は緊急の必要等により週休日又は休日等に勤務した場合に支給 勤務1回につき 6,000円	同じ	—	— 千円	— 円
災害派遣手当	災害応急対策等のために国又は他の地方公共団体から派遣された職員が住所又は居所を離れて色麻町の区域に滞在する場合に支給 公用の施設又はこれに準ずる施設 滞在期間 ・30日以内 2,430円 ・31日以上60日以内 2,430円 ・61日以上 2,430円 その他の施設	同じ	—	— 千円	— 円

6 特別職の報酬等の状況（平成23年4月1日現在）

区分		給料月額等		
料給	町 長	696,000 円	(参考) 類似団体における最高 / 最低額	
	(870,000 円)	809,400 円 /	364,500 円	
	副 町 長	581,400 円	671,700 円 /	
	(646,000 円)	364,000 円 /	220,000 円	
報 酬	議 長	290,700 円	364,000 円 /	
	(323,000 円)	285,000 円 /	168,100 円	
	副 議 長	220,000 円	263,000 円 /	
	(245,000 円)	135,800 円		
期 末 手 当	議 員	206,100 円		
	(229,000 円)			
退 職 手 当	町 長	(平成22年度支給割合)		
	副 町 長	3.10 月分		
	議 長	(平成22年度支給割合)		
	副 議 長	2.75 月分		
	議 員	(算定方法)	(1期の手当額)	(支給時期)
	備 考	870,000円×在職月数×0.4	18,374,400円	任期毎
		646,000円×在職月数×0.4	8,062,080円	任期毎

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

7 職員数の状況

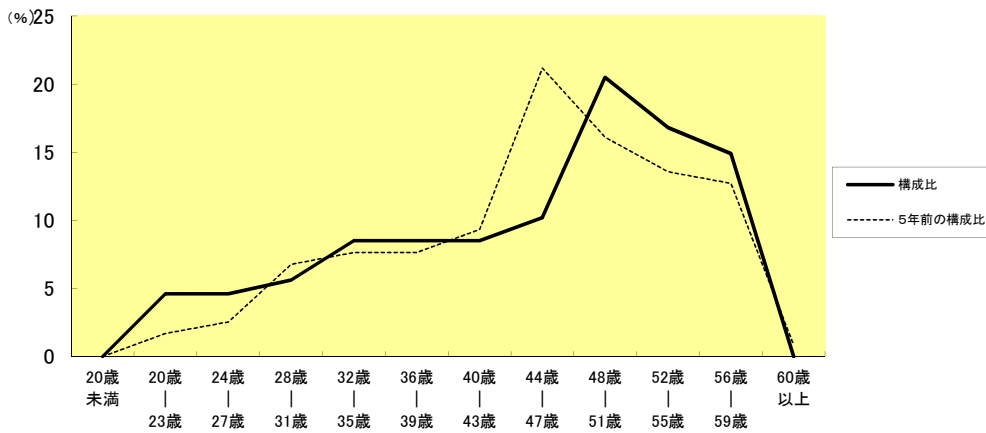
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成23年	平成22年			
普通 会 計 部 門	一般 行政 部	議会	2人	2人	0人	※派遣職員2人増、欠員補充1人増
		総務	20人	17人	3人	
		税務	5人	5人	0人	
		民生	21人	21人	0人	
		衛生	6人	6人	0人	
		農林商工	10人	10人	0人	
		土木	7人	7人	0人	
	計	71人	68人	3人	<参考> 人口1万人当たり職員数 #### #人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 118.88 人)	
	教育部門	21人	21人	0人		
	消防部門					
小計	92人	89人	3人	<参考> 人口1万人当たり職員数 ##### #人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 145.84 人)		
会 公 計 営 企 業 等 部 門	水道	3人	3人	0人		
	下水道	3人	3人	0人		
	その他	9人	9人	0人		
小計	15人	15人	0人			
合計		107人	104人	3人		
		[120人]	[120人]	[120人]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (平成23年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳23歳	24歳27歳	28歳31歳	32歳35歳	36歳39歳	40歳43歳	44歳47歳	48歳51歳	52歳55歳	56歳59歳	60歳以上	計
職員数	0人	5人	5人	6人	8人	8人	8人	11人	22人	18人	16人	0人	107人

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

部門別	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	過去5年間の増減数(率)	
一般行政	76	75	74	71	68	71	▲5	(▲6.58%)
教育	25	25	24	24	21	21	▲4	(▲16.00%)
消防							0	(%)
普通会計	101	100	98	95	89	92	▲9	(▲8.91%)
公営企業等会計	17	17	15	15	15	15	▲2	(▲11.76%)
総合計	118	117	113	110	104	107	▲11	(▲9.32%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

8 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費率 B/A	(参考) 平成21年度の総費用に占める 職員給与費率
平成22年度	千円 103,477	千円 27,704	千円 14,080	% 13.60	% 13.5

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)平成21年度平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
平成22年度	人 3	千円 10,283	千円 871	千円 2,926	千円 14,080	千円 4,693	千円 4,595

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、平成22年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項
なし

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (平成22年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
色 麻 町	39.5 歳	229,417 円	352,614 円
団 体 平 均	45.6 歳	362,100 円	535,892 円
事 業 者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

色 麻 町		色麻町(一般行政職)	
1人当たり平均支給額(平成22年度) 1,375 千円		1人当たり平均支給額(平成22年度) 1,472 千円	
(平成21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 勤勉手当 1.40 月分 (1.50) 月分 (1.70) 月分		(平成21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 勤勉手当 1.40 月分 (1.50) 月分 (1.70) 月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当 (平成23年4月1日現在)

色 麻 町			色麻町(一般行政職)		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)		
1人当たり平均支給額 — 千円 — 千円			1人当たり平均支給額 — 千円 — 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成22年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

(平成23年4月1日現在)

支給実績(平成22年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成22年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
東京都	18 %	— 人	18 %
仙台市	6 %	— 人	6 %
名取市、多賀城市、 利府町、富谷町	3 %	— 人	3 %
	%	人	%

エ 時間外勤務手当

支給実績(平成22年度決算)	698 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成22年度決算)	233 千円
支給実績(平成21年度決算)	347 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成21年度決算)	116 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

オ その他の手当(平成23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)
扶養手当	1. 配偶者 13,000円 2. 配偶者以外の扶養親族 それぞれ6,500円(職員に配偶者がない場合はそのうち1人について11,000円) 3. 扶養親族である子のうち満15歳に達する日後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子1人につき5,000円	同じ	—	548 千円	261,000 円
住居手当	1. 借家・借間に居住している職員 月額23,000円以下の家賃を支払っている職員 イ月額23,000円を超える家賃を支払っている職員 11,000円+([家賃]-23,000円)÷	同じ	—	— 千円	— 円
通勤手当	1. 交通機関の利用者 月額55,000円を限度に支給 2. 自家用車等の使用者 使用距離(片道)に応じ2,000円～24,500円を支給	同じ	—	122 千円	40,000 円
管理職手当	課長等の職にある者に支給 5級の職にある者 49,600円 6級の職にある者 51,900円 (現在は1/2の額を支給)	同じ	—	— 千円	— 円
単身赴任手当	転勤により住居を移転し、配偶者と別居して単身で生活する職員 月額23,000円+加算額	同じ	—	— 千円	— 円
寒冷地手当	基準日(毎年11月から翌年3月までの各月の初日)に支給地に在勤する職員に対して支給 地域の区分:4級地 世帯主である職員 ・扶養親族のある職員 17,800円 ・その他の世帯主である職員10,200円 ・その他の職員 7,360円	同じ	—	201 千円	76,000 円
休日勤務手当	休日(祝日・年末年始)において正規の勤務時間に勤務することを命ぜられ勤務した職員に支給 支給額=1時間あたりの給与額×(135/1000)×勤務時間数	同じ	—	— 千円	— 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として、深夜(午後10時から翌日の午前5時まで)に勤務することを命ぜられ勤務した職員に支給 支給額=1時間あたりの給与額×	同じ	—	— 千円	— 円
宿日直手当	宿日直勤務を命ぜられ勤務した職員に支給 宿日直手当 4,200円 半日直手当 2,100円 (5時間未満の場合)	同じ	—	— 千円	— 円
管理職員特別手当	管理職手当での支給を受ける職員が、臨時又は緊急の必要等により週休日又は休日等に勤務した場合に支給 勤務1回につき 6,000円	同じ	—	— 千円	— 円